

環境保全と根室市のごみ事情

現在、ごみの分別は「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」となる廃棄物と、「空き缶」「ペットボトル」のリサイクル品目の4分別で収集されていますが、10月1日からは「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」の廃棄物のほか、「空き缶」「ペットボトル」「ガラスビン類」「発泡トレイ」「紙製容器包装・雑紙」「雑誌・カタログ」「新聞」「紙バック・ダンボール」「プラスチック製容器包装」と、リサイクル品目が9分別となり、合わせて11分別に変わります。

スタート最初の収集日に間に合いますか

10月1日スタート

4分別から11分別に

ごみの新分別に今から準備を！



順次開催されている新分別説明会（曙町会）

新たなりサイクル品目の分別を10月1日から始めても、最初の収集日に間に合いません。今から新分別に取り組むことを心がけて、スタート最初の収集日にはリサイクルとして出せるように準備を進めましょう。

分別確認を「利用ください」

ごみの新分別に向け、5月から町内会や団体をはじめ、一般の方々を対象とした説明会を開催しています。内容が理解できても、長年の習慣を変えることは大変難しいことです。早くから皆さんが新分別に取り組むことによって、

ごみ処理に係る経費も抑制されることはもちろんですが、分別を実際に行うことで、さまざまな疑問や問題が発生します。

また、スタートに先駆け「分別はしたものの自信がない」という方は、市の担当職員が向いて、一緒に分別の確認をしながら疑問にお答えする取り組みを行います。希望する方は、下記の担当までご連絡ください。

ビニール・皮・ゴム製品は「燃やせるごみ」へ

多くの方が疑問に思う分別に、プラスチック類、皮革製品、ゴム・ビニール製品があります。

現在の分別では「燃やせないごみ」となっていますが、10月1日からは「燃やせるごみ」に変更になります。（※根室市ごみの分別ガイドブック3ページ「燃やせるごみ」参照）

この不燃から可燃への移行は、残りの容積が1/4となっている埋立処理場の延命化のための措置で、一刻も早く取り組むことで大きな成果が得られます。10月を待たず今日から「燃やせるごみ」への移行をお願いします。

お問い合わせ先 市役所市民福祉部市民環境課環境衛生担当(窓口6番) TEL(23)6111番内線2127・2137/FAX(24)6272番

資源ごみはどうなるの？ = プラスチック製容器包装 =

私たちが分別する資源ごみが、どのようにリサイクルされるのかをご紹介します。今回は、プラスチック製容器包装のリサイクルについてご紹介します。

●「プラスチック」のリサイクルが重要課題に
軽くて丈夫でしなやか、しかも空気や水を通さず、中身をしっかりと守る「プラスチック」は、カップめん・マヨネーズの容器、シャンプーボトルなど、多くのパッケージに使われ、皆さんの家庭から出るごみの1/4を占めています。根室市が推進する循環型社会の指標となる資源化率を上げるためには、このプラスチック製容器包装のリサイクル化が喫緊の課題となっています。

●ペットボトル（ペット）とプラスチック製容器包装（プラ）の分別はリサイクル区分
ペットもプラも同じ石油（ナフサ）から作られ、それなら、一緒に分別してしまえばいいのに、だれもがそう思うかもしれませんが、

ペットは、利便性が高いため一気に普及し、大量のごみ発生の要因の一つになりましたが、同じ材質で、まとめてリサイクルしやすいことから、いち早くリサイクルされるようになりました。ユニフォームや卵パック、新しいペットボトルなどにリサイクルされています。

一方、「プラ」は、大きく分けて二つの

リサイクルがあります。一つには「モノに生まれ変わる材料リサイクル」として、プランター（植木鉢）、公園のフェンスやベンチ、マンホールのフタ、オフィスの床建材などに生まれ変わります。もう一つは、「ケミカル（化学的）リサイクル」として、「鉄」を作る工程でプラが活用されています。

鉄は鉄鉱石からサビを取り除き作られますが、鉄鉱石に石炭を混ぜて高温で熱することにより、「さびのない鉄」と「二酸化炭素」に分かれます。この作業に使われる石炭の代わりに、現在はプラが使用され、年間約6万トンの石炭が節約されています。石炭に比べて排出される二酸化炭素も少ないため、地球温暖化ガスの抑制にも貢献しています。